



成果指標				
成果指標	BOD除去率(%)=(流入水BOD値-処理水BOD値)÷流入水BOD値×100及び汚水処理コスト(円/m3)			
指標設定の考え方	安定した放流水質(BOD除去率94%以上)を確保するとともに、汚水処理コスト(汚水m3当たり)を年度比較し、処理能力を最大限に発揮できるよう施設の効率的な運営(維持管理)に努める。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標26年度
目標	94%以上	94%以上	0	0
実績	97.8%(129円/m3)	98.1%(118円/m3)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の運転管理について、包括的民間委託等の委託の方法を検討し、さらにコスト削減を図りたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	D
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	2	
課題認識	浄化センターの維持管理委託については複数年契約としているが、他市で実施している包括的民間委託を参考にして、公共下水道事業効率化計画を策定し、適正な維持管理を継続していきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	評価段階で低評価となっていることから、行政評価委員会に諮る。

### 行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	<ul style="list-style-type: none"><li>・包括的民間委託により事務量の削減が見込めるという説明であった。より適正で効率的な事務の運営をお願いしたい。</li><li>・BODの除去率を見ても高い。事業目的が水質保全ということなので、維持管理が間違いなくされていると思う。</li><li>・なぜ低評価なのかがよく分からない。包括的な管理委託をしても劇的に費用が下がる感じでもない気がする。</li><li>・事業の目的に対してどうなのか考えないといけない。水質の保全を図るという点はきちんとされているので、機能維持と延命化の観点にこだわっているという気がした。何が低評価なのか分からない印象を受けた。</li><li>・こういう事業で低評価が出ているというのは、見直してくださいということの表れである。</li><li>・指定管理者制度の導入の可能性もゼロではないと思う。</li></ul>
-------------------	--

### 経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	下水浄化センターの脱水機が1基しかなく、耐用年数も過ぎている。長寿命化を図るとともに、最低もう1基整備すること。